

令和6年度第1回守山市障害者施策推進協議会 議事要旨

日時：令和7年2月27日（木）15:00～16:30

場所：守山市役所新庁舎 防災会議室

【会議次第】

1. 開会

2. 議題

(1) 障害福祉サービス等の現状について …資料1

(2) 「もりやま障害福祉プラン2024」の進捗状況について …資料2

3. 閉会

配布資料

- ・委員名簿（次第裏面）
- ・資料1 障害福祉サービス等の現状について
- ・資料2 「もりやま障害福祉プラン2024」の進捗状況について
- ・参考資料 守山市障害者施策推進協議会条例、用語解説

議 事 録

1 開会

<事務局より>

- ・委員紹介 出席委員 12 名、内 1 名はオンラインでの参加 欠席 1 名
- ・守山市障害者施策推進協議会所掌事務説明
- ・「もりやま障害福祉プラン 2024」について説明

2 議題

(1) 障害福祉サービスの現状について …資料 1

本市の手帳所持者数、障害福祉サービスの利用状況等について事務局より説明

伊藤委員	2P 主な障害福祉サービスの3カ年の請求額「重度訪問介護」についてR5は前年比1.91の増加であったがR6は前年比0.59となっている。 この理由は何か？
事務局	請求額の伸びは、ALS等の患者等、ほぼ24時間の利用をされている方がおられたため。R6に利用を終了されたため減となっている。
福田副会長 (以下副会長)	1P 野洲養護学校における守山市の在學生は高等部生以外は減っているが、何か理由はあるか？
事務局	理由はつかめていない。
会長	守山市以外の生徒もいることから、理由分析は難しいかもしれない。
田中委員	守山市に新たな養護学校が建設予定と聞いた。建設予定場所はどこか？ また、開校による影響等は？
事務局	場所は湖南幹線沿いのコバックという車屋の向いあたり。 影響は新しい養護学校設立により、他のサービスの整備が進んだり、本市に転入される方が増える可能性を想定している。
筒井委員	1P 地域の特別支援学級在籍者数について。 中学校は微増だが小学校は減少している。 養護学校を選択する生徒が多い等、わかっている理由はあるか？
事務局	担当課にも確認したが、なぜ減ったかという分析まで至っていない。
会長	人口異動もあり分析するのは非常に難しい。
大幡委員	グループホームについて

	新しくグループホームを建てようとした時に守山市の地価がものすごく上がってしまって建てられない。職員不足の問題もあるが、建設費も高騰しており、市街化調整区域でも建てられると金額的にも抑えられるのでありがたい。
松並委員	2P 短期入所について 以前は入所施設の併設型みたいなところしかなかったと思うが、グループホームの増加等により、短期入所の受け皿は増えてきたのか？
事務局	グループホームに併設という形での短期入所も増えてきた。また、医療的ケアのある方に対し、老人保健施設での受け入れも進んできている。
大幡委員	報酬改定の影響等について 生活介護の算定方法の変更やB型事業所と利用希望者との需要と供給が合っていない現状から、運営が困難になっているように思う。

議題

(2) 「もりやま障害福祉プラン 2024」の進捗状況について …資料2

事務局より基本目標（1～7）ごとに進捗状況を説明。

則本委員	<p>5点ある。</p> <p>1点目 基本目標1 KPI 障害のある人の人権をテーマに開催した自治会人権・同和問題学習会の数について 昨年のプラン策定時に目標値は10回では少ないと意見していた。実績は16回となっているので、10回という低い目標でなく、20回・30回と取り組んでやっていけばよい。</p> <p>2点目 「もりやまふれあいフェア」について ①相互理解の促進と心のバリアフリー化の推進において「もりやまふれあいフェア」が記載されている。社会福祉協議会の「もりやま地域共生大会」と共催している。次年度は守山市文化体育振興事業団の事業と一緒により広くやっぺいこうと。より広く障害福祉事業所の皆さん、社会福祉協議会の活動も広げていこうと、ぜひ、一緒に頑張っていきたい。</p> <p>3点目 地域福祉権利擁護事業について 基本目標2 2 成年後見制度の利用支援および普及啓発において 現プラン作成時も成年後見制度と社会福祉協議会が実施している地域福祉権利擁護をあえて指摘していた。住み慣れた地域で健やかにいきいきと暮らすためには、障害のある人の権利擁護という意味からも、成年後見制度・地域福祉権利擁護事業・日常生活自立支援事業も大きな役割を</p>
------	---

	<p>担っている。そこをしっかりと認識してもらいたい。</p> <p>4 点目 基本目標 3 3 ひきこもりの人への就労相談・就労支援の令和 6 年度の取り組み状況として「重層的支援会議を 8 回開催」と記載してある。先日の地域福祉推進計画の進捗会議でも話題に出て「研修をしている」と報告されていた。重層的支援としての位置づけられた会議なので、具体的効果的な支援を検討すべきであるのに疑問が残った。</p> <p>5 点目 基本目標 6 3 避難誘導體制の確立 個別避難計画が令和 6 年 12 月時点で 4 件というのはあまりにも少ない。</p> <p>地域でも具体的に災害を想定した場合に人工呼吸器の電源をどうするかとかいう話や集会所に避難されても受け入れられないとかいろんなことが具体的に出てくる。市主導で必要な人に計画を作っているというやり方はよいが、あまりにペースが遅い。命に係わる問題なので、障害福祉部門からも強く申し入れをすべき。福祉避難所の確保についても障害福祉サイドからも強く申し入れて市全体として進めるべき。</p>
副会長	<p>個別避難計画の内容について、 体育館等に避難するというのが大体のところだと思うが、人工呼吸器等に必要となる電源、清潔区域というのを作っていかなきゃならなくなる。そういうものが計画内容に全部入っているのか、計画の内容を教えてください。</p> <p>あと、市全体で対象者は何名おられるのか。</p>
四辻委員	<p>避難行動要支援者名簿</p> <p>民生委員が訪問して登録確認などを行っているが、住所はそこにあるが施設に入所されていて実態に合わない。早急に一致させるよう以前から言っているがなかなか一致しない。実際に災害が起こった時に可能な範囲で活動していくが、実態が一致していないと逆に助けに行った人が被害に遭ってしまうといけない。</p> <p>避難所での受け入れについて、能登へ避難所支援に行かれた方の話で、大きな施設に避難されている方に対するケアよりも、自治会館などの小さなところで避難されている方に手厚く、配慮の行き届いた支援をされているときいた。本市においても各自治会の自治会館等でどういうふうに受け入れられるのか、スフィア基準※は、守山市の場合どの辺りまで整っているのか。</p> <p>※災害や紛争の被災者が尊厳ある生活を営むための人道支援活動における国際的な最低基準。政府は 2024 年 12 月に自治体向けの指針を改定し、避難所の一人当たりの最低面積を国際的な指標「スフィア基準」と同じ 3.5 平方メートル</p>

	とした。
石田委員	<p>避難行動要支援者名簿</p> <p>全体の登録者に対して半分が同意、半分は同意されていないという課題がある。私の自治会では、登録されていない人の中で絶対に同意して欲しいなという方がいらっしゃる。今、80人ほどの同意者の方がおられる。私どもとしては民生委員児童委員・福祉協力員等により同意されている名簿の方達を班ごとに振り分けて年間通じて何回か接見訪問を必ず行っている。訪問すれば情報・相談もあるので、健康福祉部に報告し情報共有した上で、避難計画等に結びつけていく形づくりを進捗しているところ。それが自治会の今の状況である。</p>
大幡委員	<p>基本目標1 KPI 障害のある人の人権をテーマに開催した自治会人権・同和問題学習会の数について</p> <p>16回という実績を聞いて障害福祉に関してのことも自治会単位でもっと取り組んでいただきたい。</p> <p>「もりやま障害福祉プラン2024」についても知ってもらう機会をもっとやっていってもいいのかなと思う。</p> <p>スポーツ大会について</p> <p>「もりやまふれあいフェア」は元々障害者だけのスポーツ大会が福祉大会の形に変わっていったが、私はスポーツ大会に家族も含めて一般の方も来られるようなスポーツ大会等をするなど、障害者が住みよいまちづくりのためには、一般の方とのふれあいをする場というのはもっと必要でないかと思う。</p>
石田委員	<p>基本目標1 KPI 障害のある人の人権をテーマに開催した自治会人権・同和問題学習会の数について</p> <p>人権同和に関する研修会は毎年定期的に行っていたが、障害のある人の学習会の認識はなかった。これは重要なテーマなので、各単位でも研修会はあるので、担当セクションとしてもっとアナウンスをしてはどうか。</p>
事務局	<p>人権学習会</p> <p>当初に立てた目標であるため、この目標の数値に関わらずにやれる範囲で推進していきたい。</p> <p>学区の打ち合わせ会等もありますので各学区の人権推進班の中で障害についての研修会の実施はしっかりとお伝えし広げていきたいと考えている。</p> <p>もりやまふれあいフェア</p> <p>来年度は守山市文化体育振興事業団も参画していただけるとのことです</p>

ので、社会福祉協議会・障害福祉団体、サービス事業所等と協力しながら、障害のある方や一般の方も参加でき、障害について知っていただく機会をぜひ作っていききたい。

権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業について、社会福祉協議会の方でも大変頑張ってお実施頂いていることは十分承知している。いろんな情報を共有しながら、助け合って取り組んでいきたい。

引きこもり支援（重層的支援会議）

どういった内容で取り組んでいくのか担当課とも協議、確認しながら皆様にお伝えしていきたい。

【追記】重層的支援会議では、課題共有・ケース検討の他、仕組みづくりのためにも各課の取組や各種研修等によるスキルアップ等も行っている。

個別避難計画

この1年で作成数が4件という実態を踏まえ、その4件の中には当課が日々関わっている方もおられ、スピード感を持って取り組むべしという課題も重々認識している。主管課は危機管理課であるが、市全体で取り組むべき課題であることは当課としても強く認識している。

福祉避難所

現在、市内に9か所の福祉避難所がある。当課の方では補助金を活用して施設を建てていただく際に福祉避難所としてのご協力もいただけないかとお願している状況。

追記

自治会館は避難所として指定していない。

現行の避難所運営マニュアルでは、スフィア基準に基づいた数値にはなっていない。今後、運営マニュアルの改訂を予定しているのでその中で検討していく。

個別避難計画（内容）

実際に策定した4件の中には人工呼吸器等を利用している方もおられ、草津保健所と連携して作成した。お使いの医療機器やお持ちのバッテリーが何時間もつのかなど、細かい支援についても計画に乗せていただいた。実際に作成する個別避難計画では、まず支援していただける方ほど

	<p>ういう方がいらっしゃるのか、避難する時にはどのような方法で避難されるのかを確認する内容になっている。</p> <p>4件作成する中でもいろんな課題が見えてきた。課題の解決も含め、実際に使って頂きやすい個別支援計画となるよう取り組んでいきたい。</p> <p>避難行動者名簿 実態との乖離から名簿の精緻化が図れていないのではというご意見を頂いた。担当課から4月に一旦、名簿をお渡しし、11月に新規や異動があった方の情報を更新するときいている。そこに行政の方が追い付けていない現状を認識しており、名簿の精緻化を課題にあげさせていただいた。</p> <p>実際に接見頂いている中で出てきた情報を健康福祉部会の方で共有し、実際の避難に繋げていけたらというお言葉もいただき、個別避難計画の作成には、主管課と連携しながら危機感をもって取り組んでいきたい。</p> <p>追記：令和6年12月現在 名簿登録者は9,000名弱 内、同意されている方は4,000名弱</p>
<p>玉川委員</p>	<p>1点目 昔に比べれば、障害児の家族負担は軽くなったと思う。しかし今も介護のために仕事を辞めざるを得ない場合があると思うが実態はどうか。</p> <p>2点目 近年何らかの支援を必要とする子どもがかなり増えた。数年後、守山市内に新たに特別支援学校ができる話もある。教員の人数に限られる中で、どのように支援するのか。</p> <p>3点目 施設にいるが、年々職員が減り、今後のことを考えると不安である。施設の数が増えても、人がいないと意味がない。人材を確保するために、守山市はどう対応するのかお聞かせいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>1点目 近年、障害福祉サービスの充実が図られ、仕事をされている保護者の場合、学校が終られた後は放課後等デイサービスの利用をされている方が多い。ほとんどの事業所が送迎や延長利用を実施しており、医療的ケアのある児童の受け入れも進んでいる。またヘルパーに来てもらう居宅介護を利用して入浴支援などを活用されている方も増えており、吸引や経管栄養が必要なお子さんの保護者の方もフルタイムで働いておられる現状がある。</p> <p>2点目 野洲養護学校や草津養護学校がマンモス化していることもあり、守山市内に新たに特別養護支援学校の開設が予定されている。</p>

	<p>全国的にも教員の不足が報じられている中、まず国には教職員定数における基礎定数・加配定数の拡充を図ること、県には年度初めの産育休の取得者の状況を見込んだうえで、余裕をもった正規教員の採用を積極的に進めるとともに、非正規教員を確保するための柔軟な雇用体制を構築していただくこと等を、強く要望している。</p> <p>3 点目 ハード面の整備のみならず人材の確保も非常に重要な喫緊の課題と認識している。</p> <p>現在、本市では「入所施設就職補助金」の周知・啓発に努め、今年度の実績は本日までに 3 件。障害福祉人材の確保は全国規模の課題でもあるため、県への要望・相談のほか、湖南 4 市においても情報共有・協議をすすめている。</p> <p>協議会委員の皆さまはじめ、障害福祉サービス事業所のみなさまに意見をお聞かせいただき、より活用しやすく効果のある手立てを構築していきたいと考えている。</p>
石田委員	<p>初めてこの委員会に参加するにあたり、実際、私の地元に町内で重度の障害のある方がおられて、その方と話してきた。現在は、日中は生活介護に通所され、夜並びに休みの日はご両親が自宅で介護をされている。話の中で現在は対応できているが、もう 5 年、10 年すれば足腰も悪くなるし体も動かなくなる。人間は死ぬことが当たり前で絶対だけど、私達が亡くなったらこの子はどうなるんやろうなと思ったら寝られません。という事を実はおっしゃっていた。今日、障害者施策推進協議会に参加するので、こういったご意見を皆さんに情報共有します、と伝えた。行政としても将来に向けて取り組みや手立てを構築して欲しいという思いを伝えたいのが今日の会議に出席した一番の目的である。</p>
芝委員	<p>身体障害者連合会で、障害者週間の啓発活動をしている。</p> <p>「もりやまふれあいフェア」で一緒に啓発活動ができればよいと思う。</p>
大幡委員	<p>引きこもり支援の件について、もう少し詳しい内容が聞きたい。</p>
事務局	<p>私どもも障害福祉課として常にケース対応をして関わっている中で、個別避難計画や今後の住まいの場等を一生懸命考えている。同じ思いで一緒にがんばっていききたいのでよろしくお願ひしたい。</p> <p>障害者週間の件</p> <p>ふれあいフェアでの取組をまたご相談していきたい。</p> <p>引きこもり支援</p> <p>学校に行けない、仕事に行けない等、ひきこもりの状態にある対象者に対し、自立に向けた伴走的支援を柔軟に行うもので、対象者またその家</p>

	<p>族へ、面談や訪問などを実施。令和6年度からは特定非営利活動法人「就労ネットワーク滋賀」へ委託を開始し、より専門性の高い面談や相談が行えるよう体制を強化している。また、「ひきこもり支援ガイドブック」の改訂、市広報、ホームページ等での周知、関係機関連携により、対応件数が増加し、一層の相談支援体制強化が必要になっている。</p> <p>対応者数（延べ） R3 91人 R4 77人 R5 91人 R6 189人 対応者数（実） R3 19人 R4 23人 R5 25人 R6 29人</p>
会長	<p>総括を3点申し上げる。</p> <p>1点目 人材不足のなか、これから先はデータを活用して情報のやり取り名簿についても個人情報さえ守ればいろんな形で施設入所などどこに行ったのかわかるようになるのでこれからは活用が望まれる。</p> <p>2点目 現状課題と次年度の取り組みについて 短期間でできるような事を来年度内にできるような形の取組内容にして具体化していくべき。今年はこちらまで来たから、次はこういうことがあるんじゃないかと思うからこうしようという書き方にする方が変化が見えてくる。</p> <p>3点目 こういった協議会では市への要望だけでなく市民もいっしょに要望と同時に皆さん方も自分たちの団体でこういうことができると主体的に行っていただきたい。商工会の立場から意見を出して頂くなど、福祉以外の所の視点がすごく大事になってくる。</p>
副会長	<p>個別避難計画について</p> <p>守山野洲在宅医療協議会において危機管理課も一緒に中に入れて計画を作る。コロナで中断していたが6月からまた同じ協議会を作り、危機管理課・障害福祉課にも保健所にも入ってもらい、何かお願いできたらと思っている。</p>
会長	<p>では、事務局にお返しする。</p>

<事務局>

来年度の障害者施策推進協議会について説明

<健康福祉部理事 挨拶>

閉 会